

市政に対する 一般質問

12月定例会では15人の議員が質問を行いました。また、市長の病気療養による本会議欠席のため、質問の取り下げ等がありました。なお、市長の本会議欠席に伴い、12月8日～12月10日は、副市長が答弁しました。
取り下げ：和泉田宏幸議員、藤部徳治議員、武藤智議員、瀬賀恭子議員、松島孝夫議員、金井直樹議員／一部取り下げ：浅古高志議員／答弁指定者の変更：立澤貴明議員



希少植物、希少生物保護活動への支援と情報発信について



日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 市内にも希少な植物、生き物がいる。人と共存できるための環境保護と希少な動植物の魅力について、市が発信してほしい。
市長 市民に周知するため、市内の貴重な生き物をまとめたリーフレットを各種イベントで配布しているほか、市役所エントランス棟1階で、市民団体提供の「フジバカマ」の写真を展示した。引き続き機会を捉えて広く情報発信に取り組んでいく。



フジバカマ公園に飛来したアサギマダラ
(写真提供:元荒川の自然を守る会)



市政運営の基本をぶれることなく大切にしていくとの考えに至った経過について



日本共産党越谷市議団 工藤 秀次 議員

問 暮らしを支える基盤である医療・介護・教育・防災・交通など、誰もが安心して暮らせる仕組みを強化することを、大切にしていくとの考えに至った経過は。
市長 コロナ禍で保健所機能を止めてはいけない場面で外部委託にいち早く取り組んだこと。大規模水害時に2つの河川が越水寸前になったことで、判断が迫られたこと。こうした経験から私の判断が市民の命に直結していることを経験した。



市内のポンプ場における水害時の様子



夜間の横断歩道における歩行者事故防止について



こしがや無所属の会 斎藤 豪人 議員

問 県内では薄暮時や夜間に死亡事故が多発し、高齢者が約8割を占め、過半数が横断中に発生している。KEEP38プロジェクトの取り組みにもあるように、歩行者優先の徹底にはドライバーからの視認性が高くなるよう、横断歩道際に専用照明を設置することが有効と考えるが市の見解は。
市長 道路交通環境や利用状況を踏まえ、交通管理者と調整し、幹線道路や通学路など優先性を勘案し設置を検討していく。



夜間の信号機のない横断歩道



住民要望に対応した市営住宅の建て替えについて



日本共産党越谷市議団 山田 大助 議員

問 市営住宅の建て替え、および建て替え完了までの10年間を安心して暮らすために、建物の現状把握や、住民の意見・要望を聞く機会を早急に作り、それぞれに対して丁寧に対応するべきと考えるが。
市長 個別具体的な対応などは、住民説明会等を開催予定のため、その中で声を聞き検討したい。総点検等の現状把握も検討したい。今後の維持管理の在り方など、入居者の意見を聞き、整理していきたい。



老朽化している弥十郎住宅



遠方から通う児童に対する暑さ対策について



NEXT越谷 横井 聖美 議員

問 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引17ページへの考えは。
教育長 市に全く関係ないとは考えていらない。子どもたちの熱中症予防に万全を期して登下校できるよう安全指導を徹底する。
問 児童と地元の声を聞いていただきたい。手引の内容を踏まえ再度議論するか。
教育長 総合教育会議は市長部局中心の会議なのでそちらで検討したい。



千疋(東町5丁目)から大相模小学校まで
3キロの道のりを通うこどもたち



中高生の居場所づくりについて



こしがや無所属の会 大野 恭子 議員

問 本市の「子どもの居場所づくり」施策において中高生の居場所づくりの観点が少ないと受け止めている。現状と考えは。
市長 児童館機能調査でも中高生の居場所の要望があり、整備が必要である認識。このため市役所エントランス棟3階に、主に中高生向けに勉強や友人と歓談するスペース設置を予定し、児童館改修時も中高生の居場所を設ける方向である。他施設への展開は今回の取り組み等を参考に検討する。



試験期間中エントランス棟カフェで
勉強する学生たち